



「大企業が有利
改正経審でのP
点影響…完工

P点が平均84点UPするのに、5000万
円未満は平均103点下がっています。
(土木工事の場合) 大分県の格付基
準では土木C級が3000~8000万円の
範囲ですので、深刻な影響が出そう
です。つまりP点に工事成績等を算

高が少ない程、点数が上がった企
業は少ない傾向…」(建設通信新
聞)「新経審一業者間の点差つき
やすく/小規模
階層ほど顕著」
(建設工業新聞)

小会社ほどP点 ↓ 県の格付の
経審不利に ↓ 見直しか!

定した主観点数を
プラスした総合点数
が640点以上の条件

…と今年4月施行の新経審の審査
基準で再審査を受けた1万2500社
の新旧の評点を調査・分析した結
果をWIS“公共データシステム(本社・長
野県)がまとめました。
完工高100億円以上は

が大幅にクヤーできなくなる恐れが
あります。当初、完工高(X1)のP点へ
の比重を35%→25%に下げる事で、完
工高偏重をなくす…との触れ込み

だった改正も逆の結果で、
基準の見直し必須では?



「メボリック(内臓脂肪)症
候群に着目した”特定健
康診査・特定保健指導”…事業主
は該当者への”受診券”申請書の
配布・申込に協力を…」との案内
が6月に社保事務局から届きまし
た。従来は社保の
扶養家族は国保
加入者と同じ市

みました。どこの実施機関
で受診しても同じ費用と

思っていたら、なんと自己負担で20
00円以上の差があります。例えば特
定健診の場合、基本的な健診への補
助は上限5400円、これを越えると自
己負担が発生します。
県内殆どの機関が
7570円(佐伯のみ68

今年からの自己負担に2千円
特定健診… 以上の差

町村が行う健診を受けていまし
たが、今年から40~74歳の人につ
いては、社保(政管健保)が補助す
る”特定健診”等を受診するシステム
に変わりました。さっそく”受診
券”の交付を受けて健診を受けて

00円)で自己負担2170円ですが、大
分市の地域成人病検診センターや別府
市の厚生連健康管理センターだと5400
円で自己負担は
ありません。事
前調査、要です!



厚生年金の保険料率が、昨年同様9月分(10月納付)より0.354%(本人負担で0.177%)UPします